

渋沢栄一賞候補者概要書（記入例）

<記入にあたっての注意事項>

- ① ※印の項目は必須記入事項です。その他の項目は分かる範囲で記入してください。
推薦団体等には別途、企業活動及び社会貢献活動等の補足資料の提供を依頼することがあります。
- ② 提出にあたっては、必ずしも候補者の了解を得る必要はありません。
- ③ 様式（A4）2ページに納まるように記入してください。なお、ページ区切りの位置は変更して差支えありません。
- ④ 記入事項の裏付けとなる資料（会社案内、新聞記事、社報その他活動のわかる書類）をできる限り添付してください。

候補者氏名	※ 埼玉 花子
生年月日	昭和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 （ 〇〇 歳）

1. 候補者が経営する企業の概況について

企業名 (設立)	※ 株式会社 〇△産業 (昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日)	職名 (就任年 月日)	代表取締役社長 (平成〇〇年〇〇月 〇〇日)
企業 所在地	※ 埼玉県 さいたま市	従業員数	75人
業種	精密機器製造・販売業	資本金	10,000,000 円
業務内容	…年創業の…メーカーである。主力製品である「…」は国内販売累計…台のトップブランドであるほか、…年に販売を開始した…についても国内シェア第2位となっている。 また、…年、同社製品である「…」が国土交通省の「…」に認定されたことで、付加価値のある商材としての認知度を高めている。(※別添資料1(新聞記事)参照)		
規模	国内では全国に…か所の製造拠点、…の営業拠点を構えるほか、関連会社として…などがある。海外においては…に工場を…箇所に営業拠点を有するほか、世界有数の物流企業である…との提携により世界…以上の国と地域をカバーしている。…年度の連結売上高は…億円で…分野では国内第…位である。(※別添資料2(会社案内)参照)		

企業の業務内容について簡単に記入してください。
企業のパンフレットがあれば、添付してください。

企業活動の規模、国内、海外展開の状況などについて記入してください。

2. 渋沢栄一 の精神を受け継ぐ活動について

企業活動	埼玉花子氏は、2002年の代表取締役社長就任後、「……」を経営理念に掲げ、…のような取組を実施した。従前からの事業について…したほか、新たに…にも取り組むなどした結果、…であったものが…となるなど業績の拡大に成功した。(※別添資料3(社史写し)参照) 主力製品である「…」は、〇〇大学及び〇〇研究所の技術協力を得て開発したものであり、…の特徴を生かし、医療分野の市場シェアを伸ばすことに成功した。
------	---

新しい課題への対応やほかの企業に先駆けた事業活動、他に例のない特徴のあるもの、渋沢栄一の影響を受け継ぐような特筆すべき活動について、わかる範囲で内容・期間・規模等を記入してください。	またSDGsの観点から、社として…を進めることが重要であると考え、…の視点を取り入れた製品開発に着手、…年には…を発売するに至った。(※別添資料4 (カタログ) 参照) さらにDX化を強力に推進しており、…ツールを導入、…するなどしている。生産性の向上と併せて社員の働き方改革にもつながっており、年次有給休暇の取得率が…パーセントから…パーセントに向上するなどの成果が出ている。(※別添資料5 (IR資料) 参照)
社会貢献活動や地域社会への貢献について、いつごろから、どのような活動をしているのか分かる範囲で活動内容・期間・範囲・成果等を記入してください。また、個人としての活動か、分かるようにしてください。	社会及び地域貢献活動 【企業として】 ① 社会福祉法人与連携した持続可能な企業貢献を推進。…年には活動を発展させ、会社を設立した。(※別添資料6 (雑誌記事) 参照) ② 地域を元気に、交流人口の拡大と雇用創出を目指し「…」事業を展開。…年に…駅前に地域活性化を目指した飲食・観光事業を営む「…」を開業。年間…万人以上が訪れる観光スポットに(※別添資料7 (ウェブニュース記事) 参照) 【個人として】 本業とは別に、子供たちの教育をサポートする観点から支援団体である「…」を立ち上げ、…などの取組を実施しており、これまでに…件の支援を行うなどしている。

推薦者(団体)名 所在地 担当者(職・氏名) 電話 E-mail	※ ○△株式会社 ※ 埼玉県 さいたま市 ※ 営業部長 埼玉 太郎 ※ 000-0000-0000 ※ abc.info@company.com
推薦理由	・同氏は…の課題に早くから着目し、社会のニーズに応じており、変化の時代に柔軟に対処した渋沢翁の精神を継いでいると考えるため。 ・同氏は、本業の…で…のように社会に利益を還元しているほか、本業とは関連のない…の分野でも慈善活動に従事している。これらの活動が現代の渋沢栄一の名にふさわしいと考えるため。